



TSC Foresight 調査分析レポート

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査 (2025 年度全体概要)

～ 通称バルーンマップ調査 ～

2026 年 9 月

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション戦略センター

はじめに.....	1
1 章 製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査の概要	1
2 章 2024 年時点での企業国籍別比較による日系企業の特徴.....	3
3 章 製品分類別の世界市場規模と企業国籍別売上の推移（2018-2024 年）.....	11
おわりに.....	18

はじめに

イノベーション戦略センターは、NEDO のシンクタンク部門として、グローバルな市場・産業・政策・技術の動向の調査を通じて、日本の産学官が連携して取り組むべき領域を分析している。その活動の一環として、TSC が分野横断的な製品市場の動向を把握する目的で実施している「製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査」（通称：バルーンマップ調査、以下「本調査」という。）は、定点観測的に 10 年以上継続してきた調査である。本レポートでは、本調査の結果から見える日系企業の製品市場における国際競争ポジションとその変化について、米国・中国・欧州系企業との比較を通じて分析した結果を報告する。

1 章 製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査の概要

本調査は、自動車や家電製品などの主要な最終製品 14 分類について、最終製品とその中に使われている部材・素材製品などを対象に、世界の企業の売上高を調査するものである。経年変化を把握するために、直近 5 年間の売上高を調査し、その結果を、日系企業・米国系企業・中国系企業・欧州系企業などの企業国籍別に集計している。一例として、ガソリン自動車の調査結果の例を表 1 に示す。

表 1 市場規模・各国企業販売額の調査結果の例：ガソリン自動車(ハイブリッド車を含む)

1.市場規模実績推移(2020年/2021年/2022年/2023年/2024年)											単位：百万円、%
		2020年(実績)		2021年(実績)		2022年(実績)		2023年(実績)		2024年(実績)	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
日系販売額		54,012,900	24.3	56,683,700	26.0	55,990,000	23.1	71,224,780	26.4	65,558,710	24.8
		対前年比	-	104.9		98.8		127.2		92.0	
外資系販売額	米国系	27,455,300	12.3	25,907,040	11.9	32,008,770	13.2	37,448,770	13.9	41,519,790	15.7
		対前年比	-	94.4		123.6		117.0		110.9	
	欧州系	76,185,300	34.3	72,379,100	33.3	85,600,000	35.3	88,387,810	32.7	86,477,110	32.8
		対前年比	-	95.0		118.3		103.3		97.8	
	中国系	40,662,100	18.3	36,234,000	16.6	36,800,000	15.2	38,395,060	14.2	34,849,480	13.2
		対前年比	-	89.1		101.6		104.3		90.8	
	台湾系	-	△	-	△	-	△	-	△	-	△
		対前年比	-	-		-		-		-	
	韓国系	19,097,100	8.6	21,057,500	9.7	25,365,000	10.5	28,636,770	10.6	29,312,570	11.1
		対前年比	-	110.3		120.5		112.9		102.4	
	その他	4,933,800	2.2	5,400,800	2.5	6,450,000	2.7	6,119,885	2.3	6,203,025	2.4
		対前年比	-	109.5		119.4		94.9		101.4	
	小計	168,333,600	75.7	160,978,440	74.0	186,223,770	76.9	198,988,295	73.6	198,361,975	75.2
		対前年比	-	95.6		115.7		106.9		99.7	
合計		222,346,500	100.0	217,662,140	100.0	242,213,770	100.0	270,213,075	100.0	263,920,685	100.0
		対前年比	-	97.9		111.3		111.6		97.7	

本調査では、製品ごとに収集したデータを、2 章に示すように企業国籍別のバルーンマップにまとめている。バルーンマップは、縦軸に各製品の世界市場規模、横軸に各製品の当該国籍企業の売上シェアをとり、各製品の当該国籍企業の売上高をバルーンの大きさとして表示するものである(これが、本調査が通称バルーンマップ調査と呼ばれるゆえんである)。

調査結果の詳細については、別途公開している報告書を参照いただきたい。

<https://www.nedo.go.jp/content/800060552.pdf>

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

本レポートでは、本調査の結果を基に製品市場における日系企業の国際競争ポジションの特徴を分析する。

2 章では、2024 年時点での比較による日系企業の特徴を分析する。表 2 に対象製品分類と製品数を示す。ここでは本調査のうち2024年の世界市場規模が把握できた製品のみを対象とした。

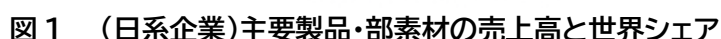
表 2 2 章の対象製品分類と製品数(2024 年)

製品分類	製品数
1.自動車	155
2.民間航空機	19
3.産業機械	136
4.産業用車両	9
5.家電製品	88
6.携帯電話	49
7.OA機器	28
8.通信ネットワーク機器	53
9.エネルギー供給施設/プラント	107
10.医療機器	45
11.医薬品	7
12.検査・分析機器等	16
13.ロボット	23
合計	735

3 章では、2024 年までの世界市場規模及び各国企業の売上高の推移の比較による日系企業の特徴を分析する。ここでは、5 年間以上の経年比較が可能な製品のみを対象とした。

2 章では、2024 年時点での企業国籍別のバルーンマップを比較する。なお、各バルーンマップには、売上高 1 兆円のラインを赤点線で表示する。

日系企業においては、売上高 1 兆円以上の製品数が 20 個あり、その売上総額は 116 兆円である。自動車及びその関連部品のバルーンが存在が目立つ。一方、世界シェア 60%以上の高シェア製品数は 156 個あり、その売上総額は 30 兆円である。



米国系企業においては、売上高 1 兆円以上の製品数が 38 個あり、その売上総額は 256 兆円である。医薬品、自動車のほか、OA 機器や通信ネットワーク機器など、エレクトロニクス系製品のバリューが目立つ。一方、世界シェア 60% 以上の高シェア製品数は 97 個あり、その売上総額は 46 兆円である。



製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

図3には欧州系企業の製品市場における売上高と世界シェアを示す。

欧州系企業においては、売上高1兆円以上の製品数が36個あり、その売上総額は227兆円である。世界市場規模が最大の自動車で売上高トップである。そのほか、医薬品や航空機、風力発電システムなどのエネルギー関連製品のバルーンが存在が目立つ。一方、世界シェア60%以上の高シェア製品数は64個あり、その売上総額は31兆円である。

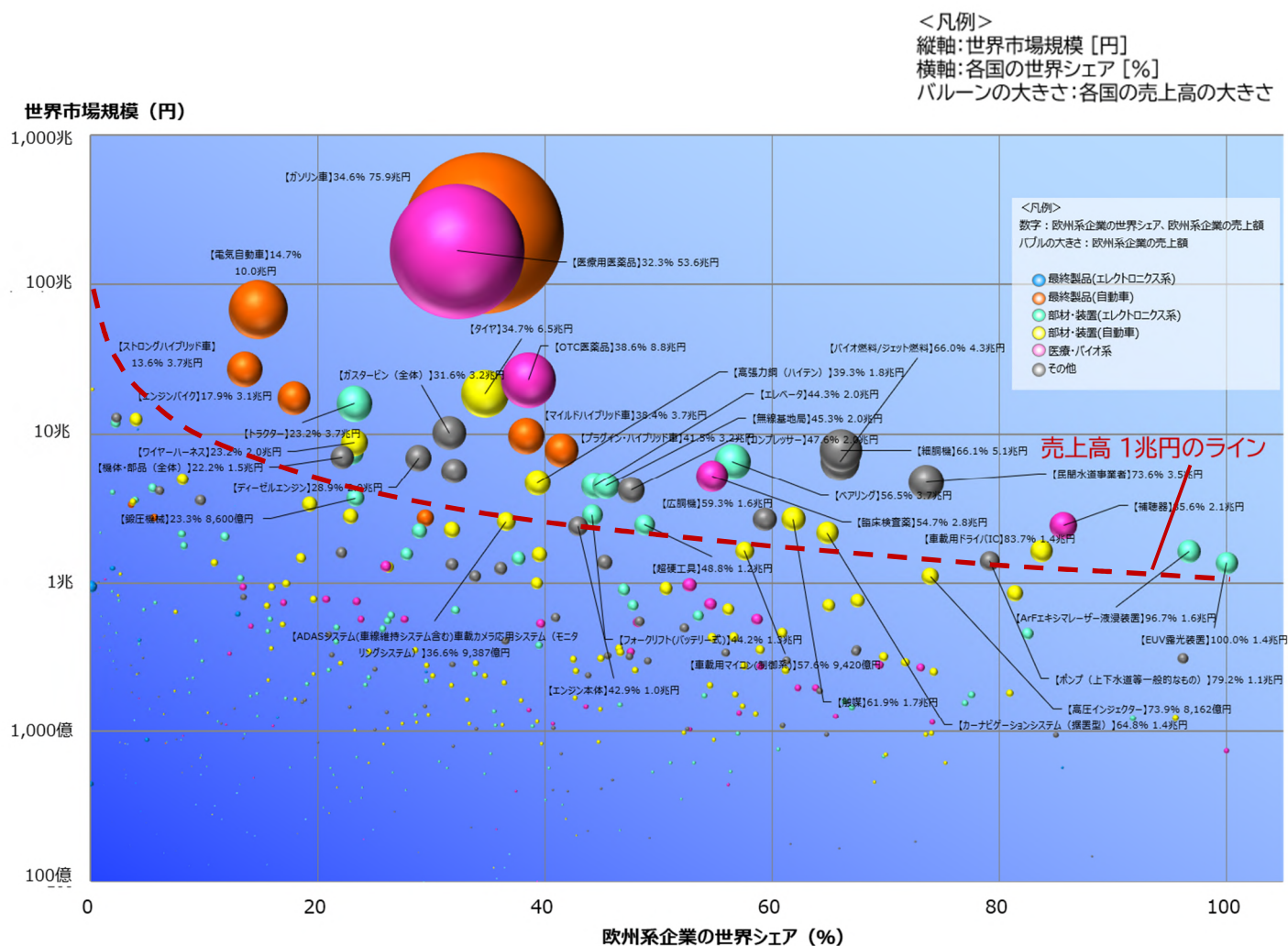


図3 (欧州系企業)主要製品・部素材の売上高と世界シェア

中国系企業においては、売上高 1 兆円以上の製品数が 42 個であり、その売上総額は 218 兆円である。自動車、家電製品、パソコン、携帯電話など世界市場規模の大きい製品の巨大バルーンが存在が目立つ。一方、世界シェア 60% 以上の高シェア製品数は 42 個あり、その売上総額は 49 兆円である。



製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

2024 年時点での企業国籍別の、売上高 1 兆円以上および世界シェア 60%以上の製品数とその売上総額の比較を表 3 に示す。

日系企業の特徴としては、市場規模は小さいが世界シェア 60%以上の高シェア製品が 156 個と米国・中国・欧州系企業より群を抜いて多いことにあるといえる。ただし、高シェア製品の売上総額は他国以下である。高シェア製品の内訳(図 5)を見ると、その大部分は、産業機械・ロボットの最終製品と自動車・エレクトロニクス向けの機能性部材・素材であることがわかる。参考までに、その製品名を表 4～6 に示す。

また、表 3 からは、米・欧・中においては売上高 1 兆円以上の製品市場において拮抗している状況を読み取ることができる。製品数が最も多いのは中国系企業であるのに対し、売上総額では米国系企業のほうが高い。

表 3 企業国籍別の売上高 1 兆円以上、世界シェア 60%以上 製品数および売上総額

製品数 [売上総額 兆円]	日系	米国系	欧州系	中国系
売上高 1兆円 以上	20 [116]	38 [256]	36 [227]	42 [218]
シェア 60% 以上	156 [30]	97 [46]	64 [31]	42 [49]

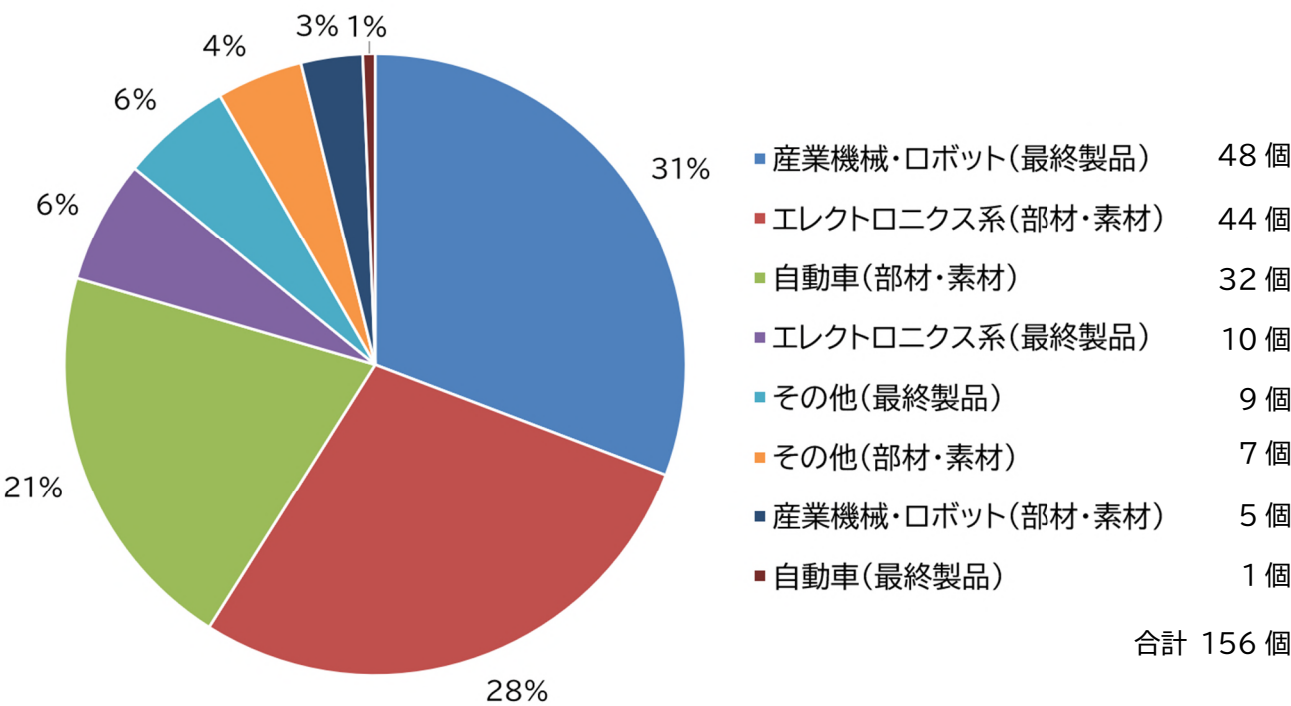


図 5 日系企業の世界シェア 60%以上製品の分類

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

参考: 日系企業の世界シェアが 60%以上の製品一覧 (1/3)

分類	産業分野	品目名	日系企業 世界シェア(%)	日系企業 売上高(億円)
自動車(最終製品)	自動車	ストロングハイブリッド車	61.2	165,000
自動車(部材・素材)	自動車	CVT	100.0	6,920
		自動車用ガラス	67.9	9,267
		モーター(ハイブリッド車用)	70.5	4,514
		キャパシター	90.9	1,923
		車載蓄電池(ニッケル水素電池)	90.9	1,923
		ガス濃度センサー(酸素センサー)	66.9	549
		ガス濃度センサー(全領域空燃比センサー)	64.2	842
		磁気センサー(モーター内蔵用/ホール素子)	61.5	18
		回転角(角位置)センサー	62.3	689
		アルミ電解コンデンサー	76.8	1,252
		タンタル電解コンデンサー	68.1	111
		積層セラミックコンデンサー	79.1	2,877
		フィルムコンデンサー	68.8	1,540
		チップインダクター	64.1	1,570
		水晶振動子	96.3	491
		発電機モーター	74.8	993
		POF	100.0	38
		PPS(ポリフェニレンサルファイド)	75.4	639
		PEN(ポリエチレンナフタレート)	63.8	120
		TPO(オレフィン系エラストマー)	76.8	900
		グラファイト(次世代用)	100.0	10
		カーボンブラック(次世代用)	78.3	332
		ケナフ	100.0	9
		ニッケル水素二次電池用部材(正極材)	100.0	150
		ニッケル水素二次電池用部材(負極材)	94.6	217
		ニッケル水素二次電池用部材(電解液/電解質)	91.6	24
		ニッケル水素二次電池用部材(正極集電体)	82.6	166
		ニッケル水素二次電池用部材(負極集電体)	100.0	133
		ニッケル水素二次電池用部材(セパレーター)	94.2	39
		キャパシタ用(電解材)	71.7	9
		キャパシタ用(電解液/電解質)	100.0	8
		キャパシタ用(セパレーター)	100.0	10
エレクトロニクス系(最終製品)	家電製品	デジタルカメラ(レンズ一体型)	86.6	1,795
		デジタルカメラ(一眼レフ)	100.0	1,237
		デジタルカメラ(ノンレフレックス)	100.0	1,326
		デジタルカメラ(交換レンズ)	100.0	4,949
		DVDプレーヤー(Blu-rayタイプ)	61.4	180
		DVDレコーダー(Blu-rayタイプ)	60.0	270
		ゲーム機(据置型)	86.2	8,129
		ゲーム機(携帯型)	100.0	446
		温水洗浄便座	70.3	318
	OA機器	複合機(MFP)	78.6	4,620
エレクトロニクス系(部材・素材)	家電製品	ブラックレジスト	61.8	166
		配向膜材料	92.1	434
		シール剤	100.0	93
		偏光板保護フィルム(ブレンTAC)	60.5	216
		偏光板保護フィルム(補償機能付)	99.5	1,842
		反射防止フィルム	80.3	1,111
		ACF	96.9	472
		導光板材料(ベレット・PC)	100.0	70
		導光板材料(ベレット・PMMA)	95.7	106

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

参考: 日系企業の世界シェアが 60%以上の製品一覧 (2/3)

分類	産業分野	品目名	日系企業 世界シェア (%)	日系企業 売上高(億円)
エレクトロニクス系(部材・素材)	家電製品	導光板材料(ベレット・COP/COC)	100.0	1
		TACフィルム	87.7	1,140
		PVAフィルム	100.0	1,368
		蒸着装置	85.4	350
		拡散ビーズ	69.5	64
		酸化物TFT	65.0	10
		光学用透明粘着剤	72.1	414
		カメラ搭載用光学レンズ	82.5	60
		イメージセンサー	75.1	809
		ローパスフィルター	76.0	27
		イメージングナルプロセッサ	82.3	102
		液晶EVF	97.2	74
		リチウムイオン二次電池	69.6	104
		アイソレータ	100.0	48
	携帯電話	SAWデバイス(DUP)	68.1	1,197
		SAWデバイス(フィルタ)	85.3	668
		RFモジュール(Rxモジュール)	100.0	1,302
		TCXO/水晶振動子	65.9	1,212
		電子コンパス	81.1	211
		ガラス基板	60.7	145
	OA機器	投射レンズ	76.3	89
		インテグレートレンズ	100.0	10
		UV/IRカットフィルタ	100.0	3
		半導体レーザー	64.0	61
		プリントヘッド(LD)	64.2	260
		プリントヘッド(LED)	100.0	127
		CCDリニアイメージセンサー	100.0	50
		OA用fθレンズ(エフシータ)	91.7	94
	通信ネットワーク機器	OA用コリメータレンズ	85.4	55
		光通信用DFB-LDチップ・モジュール (EML(10G))	66.9	154
		LN変調器	66.7	50
		励起レーザー(980nm)	65.0	47
		励起レーザー(1480nm)	62.8	52
		光通信用レンズ(GRINレンズ)	100.0	2
産業機械・ロボット(最終製品)	産業機械	光通信用レンズ(非球面レンズ)	71.7	151
		スライシング装置	82.7	9
		ラッピング装置	100.0	36
		ポリッシング装置	60.9	109
		ウェーハグラインダ	96.6	170
		電子ビームマスク直描装置	92.0	810
		コータ/デベロッパ	94.5	4,372
		絶縁膜エッチング装置	64.5	5,270
		縦型CVD装置	86.7	2,013
		縦型酸化拡散炉	90.3	630
		コータ装置	100.0	39
		ウェットステーション	81.7	800
		ワンバス式洗浄装置	81.1	430
		枝葉式洗浄装置	67.5	2,450
		ドライ/蒸気洗浄装置	75.0	150
		ダイシングソー	100.0	1,157
		バックグラインダ	100.0	442

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

参考:日系企業の世界シェアが60%以上の製品一覧(3/3)

分類	産業分野	品目名	日系企業 世界シェア(%)	日系企業 売上高(億円)
産業機械・ロボット(最終製品)	産業機械	工程間搬送車/OHT	76.9	400
		クリーンストック	83.2	298
		ウェアハブドリングロボット	93.2	1,035
		マスフローコントローラ	68.9	413
		クリーンルーム	61.1	660
		局所クリーン	60.9	98
		SOC&Logicテスト装置	62.4	4,640
		メモリテスト装置	65.5	1,670
		プロービング装置	95.6	827
		マウンタ(高速)	72.9	1,910
		マウンタ(多機能)	73.4	430
		レーザ加工機	67.7	436
		露光装置(全自動)	93.2	412
		アーク溶接ロボット	75.0	966
		塗装ロボット	65.3	372
		パレタイジングロボット	64.0	285
		単軸型ロボット	86.4	114
		直交型ロボット	74.8	83
		スカラ型ロボット	84.0	714
		小型垂直多関節ロボット	71.3	1,290
		ガラス基板搬送ロボット	93.4	255
	産業車両	ボールベアリング	97.1	2,466
		ビル用マルチエアコン	75.2	9,300
	ロボット	クレーン(建設用)	65.5	3,233
		見守りロボット	71.1	3
		コミュニケーションロボット	79.8	8
		移乗支援ロボット	72.4	15
		ヒューマノイドロボット	85.0	17
	医療機器	エクゾスケルトン	65.1	27
		内視鏡	100.0	1,687
		眼底カメラ	60.7	61
		AI診断機器	100.0	3
産業機械・ロボット(部材・素材)	産業機械	精密制御減速機(コンポーネントタイプ)	100.0	259
		精密制御減速機(ユニットタイプ)	66.3	442
		ロボット用赤外線センサー	76.4	42
		DDモーター	64.7	131
	医療機器	球面レンズ(カプセル内視鏡用)	100.0	6
その他(最終製品)	エネルギー	地熱発電システム(フラッシュ式)	86.7	770
		家庭用燃料電池(固体高分子形)	93.0	160
		家庭用燃料電池(固体酸化物形)	95.1	235
		コンプレッサー	83.3	10
		電力貯蔵設備用NaS二次電池	100.0	61
		電力貯蔵設備用リチウムイオンキャパシター	100.0	5
		超純水製造装置	80.4	910
		黒鉛電極	71.1	2,030
		球状シリコン太陽電池	100.0	23
その他(部材・素材)	民間航空機	娯楽システム	75.3	1,090
		手荷物用鏡	100.0	2
		チラノ繊維	100.0	26
	エネルギー	風車向け炭素繊維	66.6	1,058
		地熱タービン	84.5	494
		熱電変換素子(エネルギー変換)	62.7	4
		透明導電膜付き基板	83.2	463

3 章 製品分類別の世界市場規模と企業国籍別売上の推移 (2018-2024 年)

この章では、これまでの調査の結果と合わせた 7 年間(一部のものは 5 年間)の推移として、製品分類別の世界市場規模と企業国籍別売上の推移比較による日系企業の特徴を分析した。製品別に、各年の企業国籍別の売上を積み上げ棒グラフとして表示し、日系企業のシェアを折れ線グラフとして表示する。

世界市場規模や売上推移の分析においては、この 7 年間に発生したコロナ禍の影響に留意する必要がある。そこで、売上の推移比較については、コロナ禍の 2020 年から 2024 年にいたるまでの年平均成長率(CAGR)を指標として成長度合いを比較した。成長度合いに関する本文中の表現としては、年平均成長率が 10%超の場合「大きく成長」、5%以上 10%以下の場合「順調に成長」、0%超 5%未満の場合「緩やかに成長」、0%の場合「横ばい」、0%未満の場合「減少」とした。

【自動車】

図 6 には自動車関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模はコロナ禍が起きた 2020 年で縮小するが、2020 年以降、成長率 11.2%と大きく成長しコロナ禍前の規模を上回った。日系企業は成長率 7.3%と順調に成長するものの世界市場の成長度合いには及んでいない。大きく売上を伸ばしているのは成長率 16.8%の米国系企業と成長率 15.7%の中国系企業である。その他の地域では、韓国系企業が 2024 年時点でシェア 9%を占め、成長率 16.6%と大きく成長している。

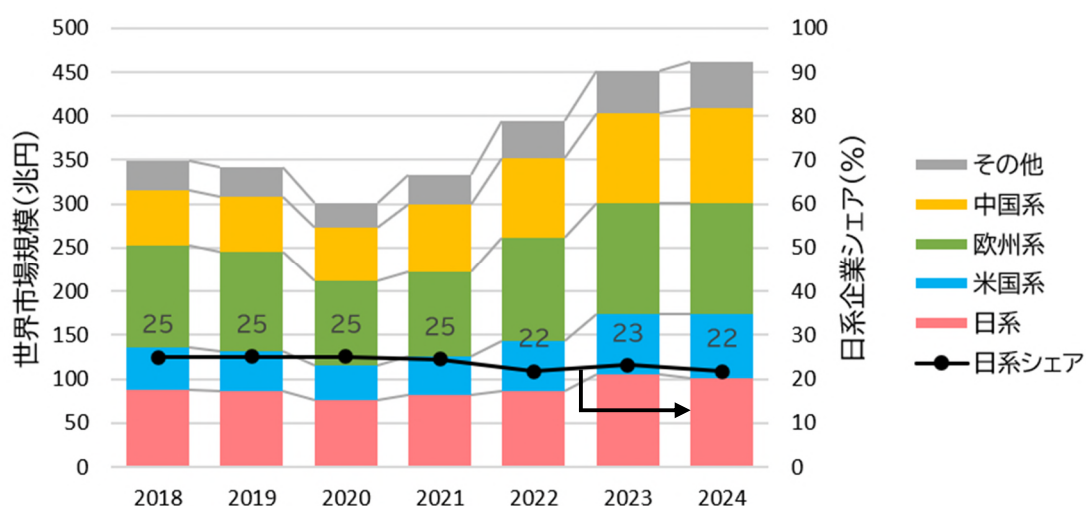


図 6 世界市場規模と日系企業シェアの推移 (自動車)

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

【民間航空機】

図 7 には民間航空機関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模はコロナ禍で大きく落ち込み、その後、成長率 11.2%と大きく成長するがコロナ禍前の規模には回復していない。市場の大部分を占める欧州・米国系企業の売上が順調に伸びるなか、日系企業も世界市場における規模は小さいものの成長率 6.9%と順調に成長している。

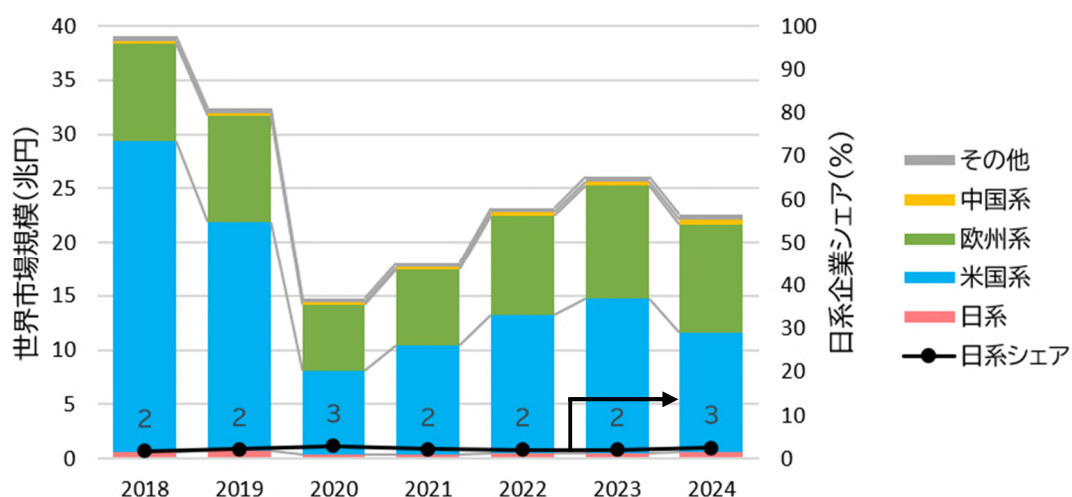


図 7 世界市場規模と日系企業シェアの推移（民間航空機）

【産業用車両・造船】

図 8 には産業用車両・造船関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模は成長率 7.1%と順調に成長している。日系企業の売上は成長率 2.5%と緩やかに成長している。米国系企業の売上が成長率 15.8%、中国系企業の成長率が 10.4%といずれも大きく成長し、欧州系企業の成長率は 9.9%と順調に成長している。その他の地域では、韓国系企業が 2024 年時点でシェア 18%を占め、成長率 3.1%と緩やかに成長している。

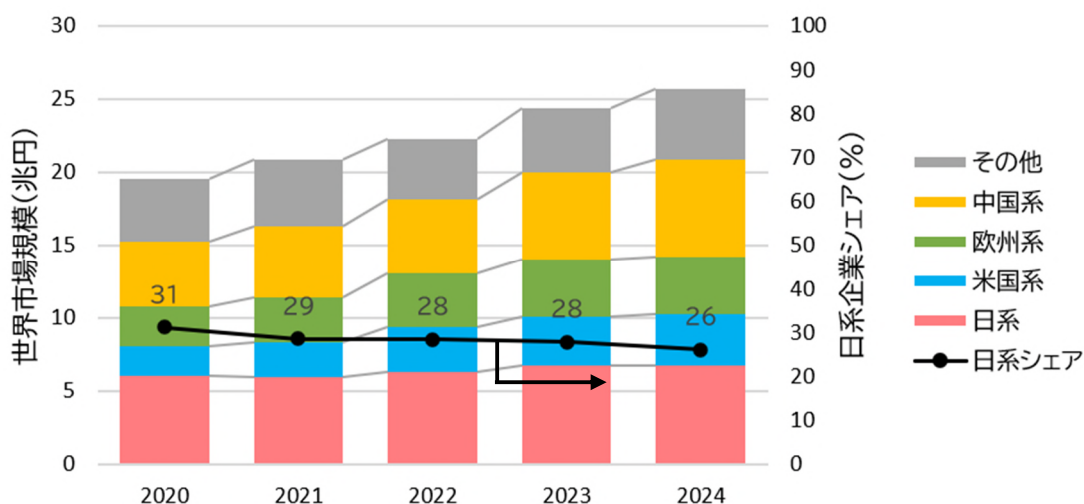


図 8 世界市場規模と日系企業シェアの推移（産業用車両・造船）

※造船を調査に加えた 2020 年からの 5 年間のデータ

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

【産業機械】

図 9 には産業機械関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模はコロナ禍で落ち込むが、その後、成長率 9.4%と順調に回復している。日系企業は成長率 8.0%と順調に売上を伸ばしシェアをキープしている。欧州系企業の売上が成長率 11.4%と大きく成長している。

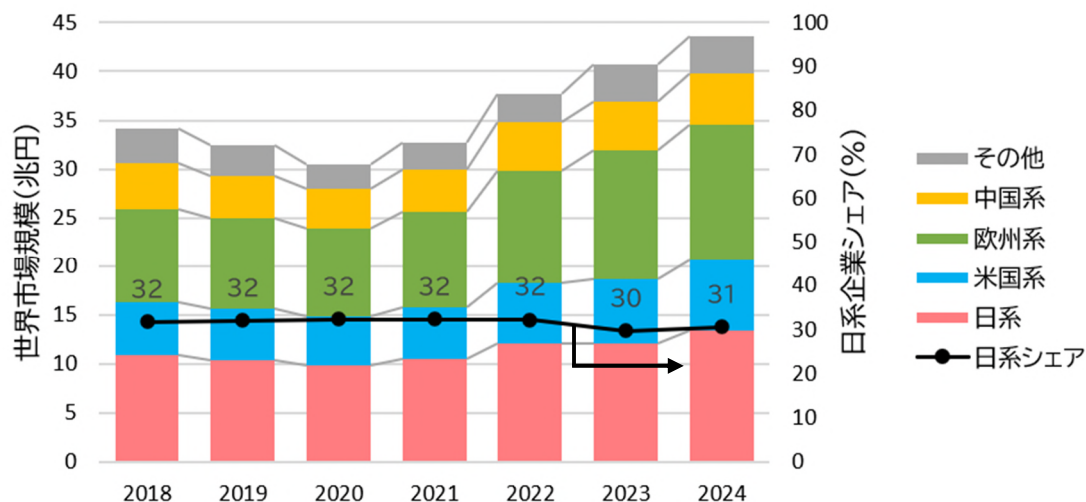


図 9 世界市場規模と日系企業シェアの推移（産業機械）

【ロボット】

図 10 にはロボット関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模はコロナ禍の影響を受けることなく、成長率 9.0%と順調に成長している。日系企業の売上は成長率 5.0%と順調に成長している。中国系企業の売上が成長率 17.2%と急伸している。

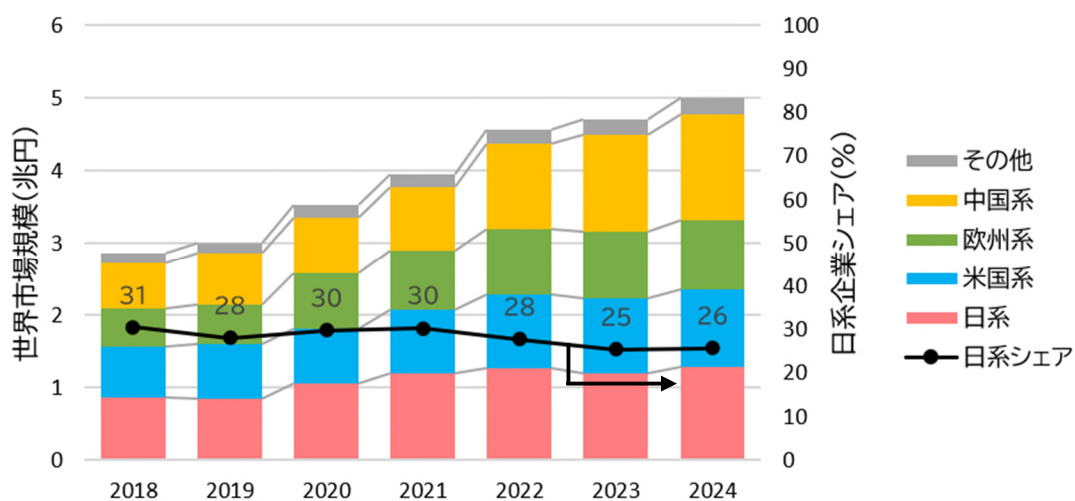


図 10 世界市場規模と日系企業シェアの推移（ロボット）

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

【家電製品】

図 11 には家電製品関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模へのコロナ禍の影響は微小であり、成長率 4.7%と緩やかに成長している。日系企業の売上は-1.1%と減少している。中国系企業は成長率 9.0%と順調に売上を伸ばしている。その他の地域では、韓国系企業が 2024 年時点でシェア 18%・成長率 3.0%、台湾系企業がシェア 9%・成長率 0.4%と緩やかに成長している。

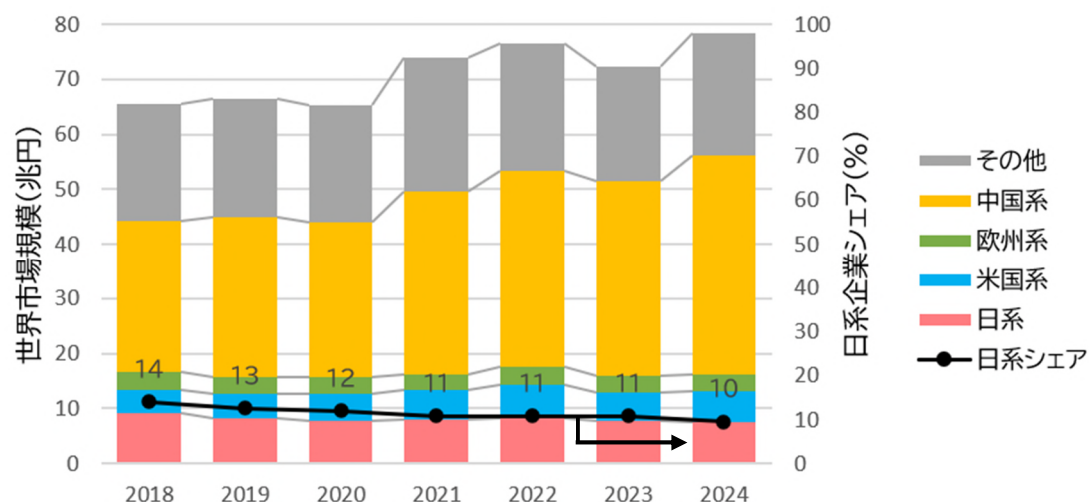


図 11 世界市場規模と日系企業シェアの推移（家電製品）

【携帯電話】

図 12 には携帯電話関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模へのコロナの影響は微小であり、成長率 7.6%と順調に成長している。日系企業の売上は成長率 0%と一定である。米国系企業は成長率 14.9%と急激に売上を伸ばしている。その他の地域では、韓国系企業が 2024 年時点でシェア 24%・成長率 7.8%と順調に成長、台湾系企業がシェア 6%・成長率 1.3%と緩やかに成長している。

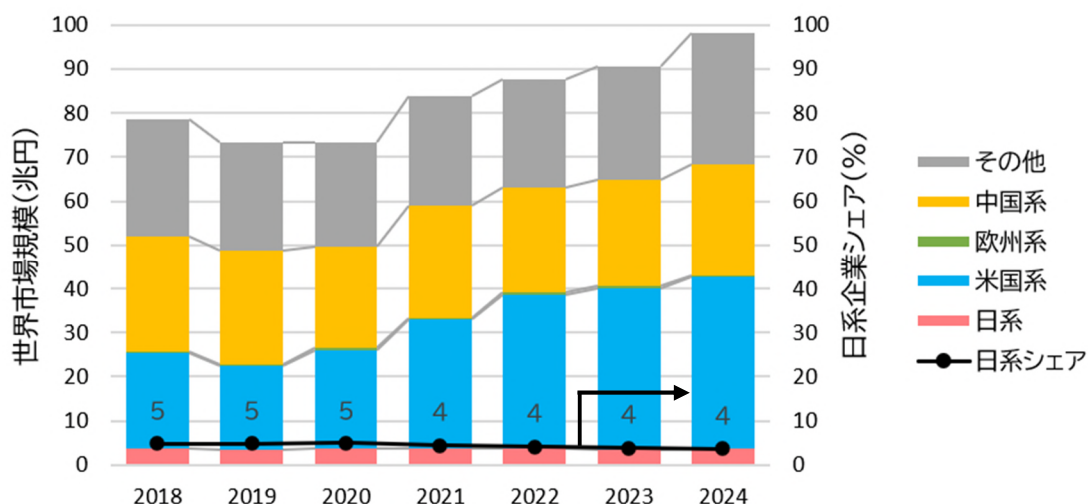


図 12 世界市場規模と日系企業シェアの推移（携帯電話）

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

【OA 機器】

図 13 には OA 機器関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模はコロナ禍の影響を受けず、成長率 3.2%と緩やかに成長している。日系企業の売上は成長率-1.1%と減少している。米国系企業が成長率 6.0%と順調に売上を伸ばしている。その他の地域では、台湾系企業が 2024 年時点でシェア 10%を占めるが、成長率は-1.3%と減少している。

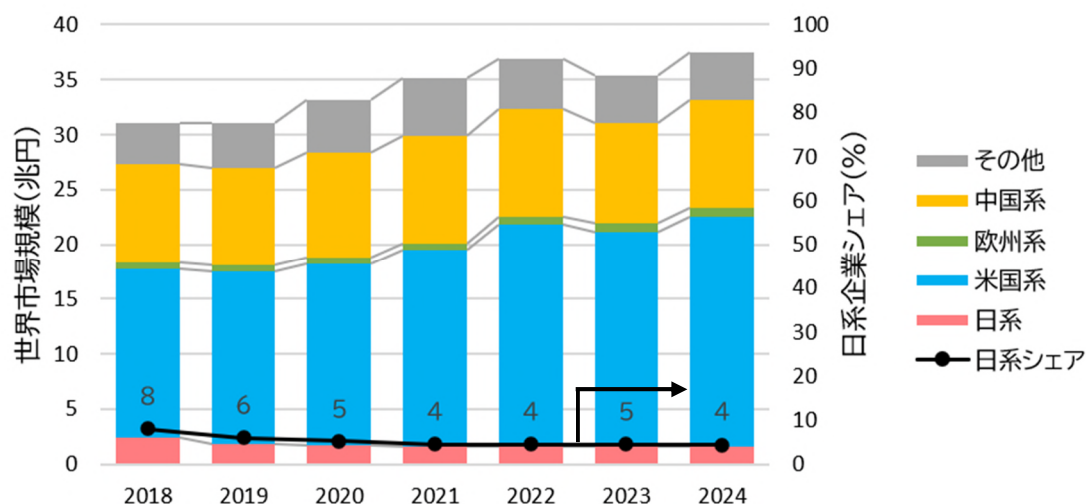


図 13 世界市場規模と日系企業シェアの推移（OA 機器）

【通信ネットワーク機器】

図 14 には通信ネットワーク機器関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模はコロナ禍の影響を受けず、成長率 5.1%と順調に成長している。日系企業の売上は成長率-0.1%と僅かに減少している。日本を除く米国・欧州・中国系の企業が売上を伸ばしている。

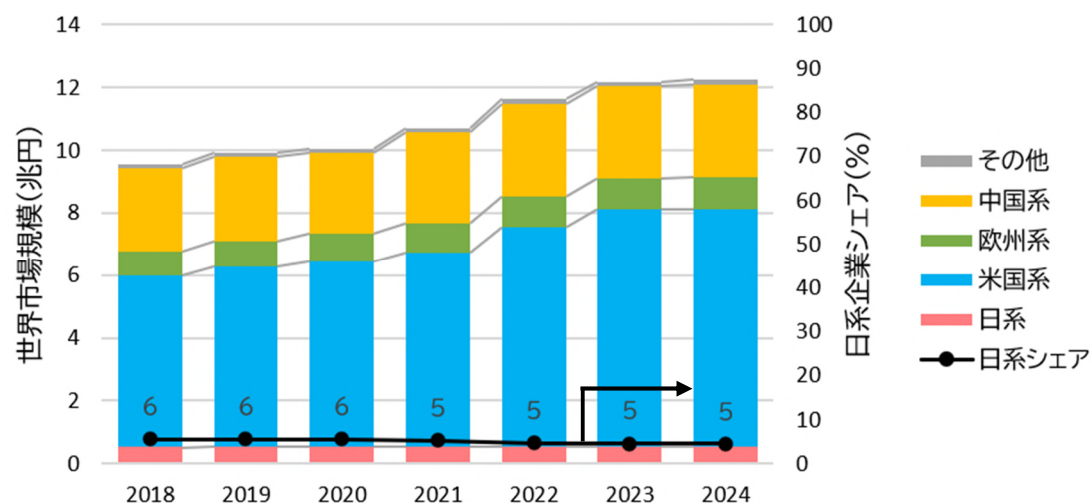


図 14 世界市場規模と日系企業シェアの推移（通信ネットワーク機器）

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

【医療機器】

図 15 には医療機器関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模は成長率 10.2%とコロナ禍にもかかわらず大きく成長している。日系企業の売上は成長率 4.8%と伸びは緩やかである。米国系企業が成長率 10.2%、欧州系企業が成長率 13.3%と大きく売上を伸ばしている。

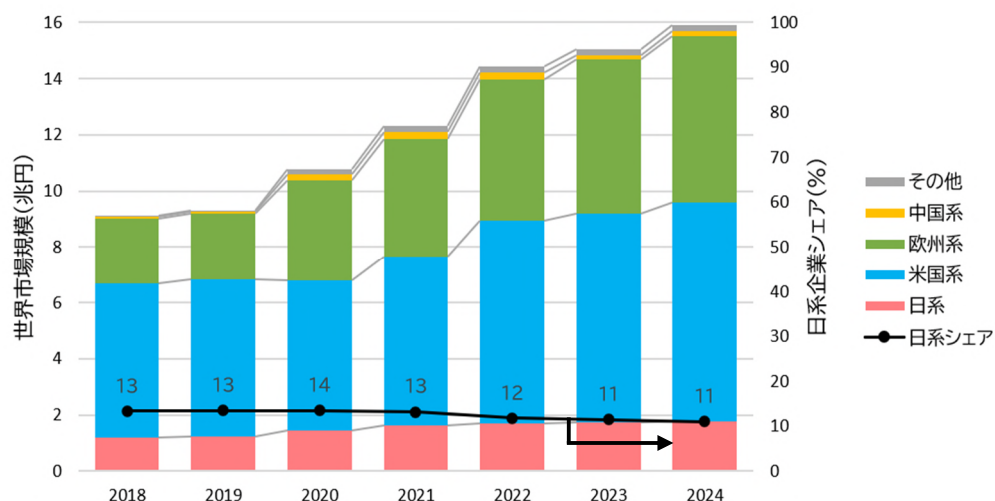


図 15 世界市場規模と日系企業シェアの推移（医療機器）

【検査・分析機器】

図 16 には検査・分析機器関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模は成長率 12.0%とコロナ禍にもかかわらず大きく成長している。日系企業は成長率 8.3%と順調に売上を伸ばすものの世界市場の成長には及んでいない。米国系企業は成長率 9.9%と順調に成長、欧州系企業の売上が成長率 13.2%と大きく成長している。

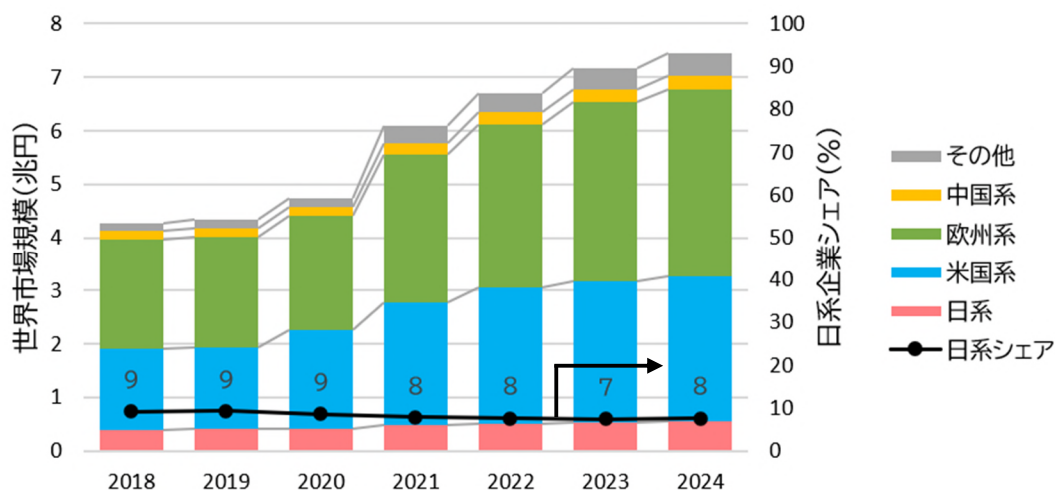


図 16 世界市場規模と日系企業シェアの推移（検査・分析機器）

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

【医薬品】

図 17 には医薬品関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模は成長率 10.7%とコロナ禍にもかかわらず大きく成長している。日系企業の売上は成長率 3.9%と伸びは緩やかである。欧州系企業は成長率が 6.3%と順調に成長、米国系企業が成長率 15.6%と大きく売上を伸ばしている。

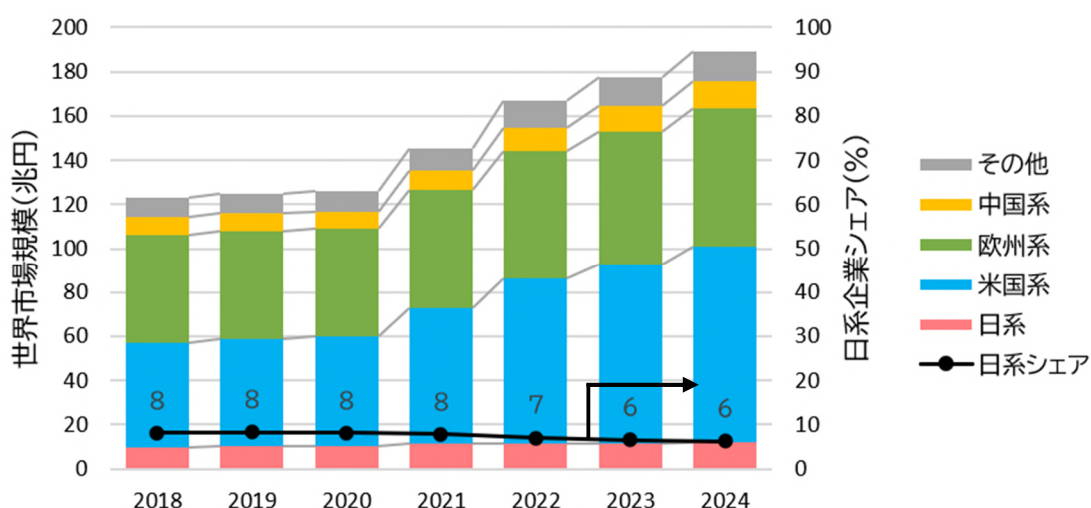


図 17 世界市場規模と日系企業シェアの推移（医薬品）

【エネルギー供給施設・プラント】

図 18 にはエネルギー供給施設・プラント関連製品の世界市場規模と日系企業シェアの推移を示す。世界市場規模はカーボンニュートラルの潮流を背景に成長率 8.9%と順調に成長している。日系企業の売上は成長率 4.9%と緩やかに成長している。中国系企業の売上は成長率 21.0%と伸びが著しい。

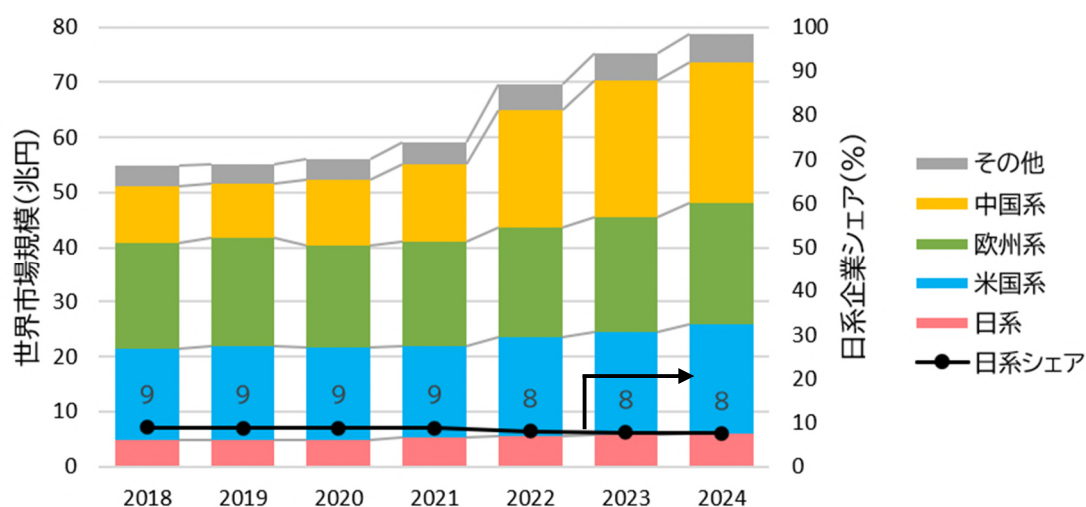


図 18 世界市場規模と日系企業シェアの推移（エネルギー供給施設・プラント）

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査

2018 年から 2024 年までの 7 年間の推移の分析結果をまとめる。

■ 世界市場規模の動向のパターン

今回対象の 13 製品分類の世界市場規模の動向パターンは、大きく2種類に分けられると考える(5年間データの産業用車両・造船除く)。

- ・ コロナ禍で落ち込むが、その後回復・成長している5分類:
自動車、民間航空機、産業機械、家電製品、携帯電話
- ・ コロナ禍の影響を受けず、もしくはプラスの影響を受けて継続成長している7分類:
ロボット、OA 機器、通信ネットワーク機器、医療機器、検査・分析機器、医薬品、エネルギー供給施設・プラント

■ 世界市場規模と各国企業売上の推移

- ・ 日系企業は 13 製品分類中の 10 分類で売上を伸ばしているが、世界市場規模の成長には及んでいない。日系企業の成長が世界市場規模の成長と同等の製品分類は、産業機械のみであった。
- ・ 米国系企業が世界市場規模の成長以上に売上を伸ばした製品分類は、自動車、産業用車両、産業機械、ロボット、携帯電話、OA 機器、通信ネットワーク機器、医薬品 であった。
- ・ 欧州系企業が世界市場規模の成長以上に売上を伸ばした製品分類は、民間航空機、産業用車両、産業機械、医療機器、検査・分析機器 であった。
- ・ 中国系企業が世界市場規模の成長以上に売上を伸ばした製品分類は、自動車、産業用車両、ロボット、家電製品、医薬品、エネルギー供給施設・プラント であった。

おわりに

以上のように、本調査は、その結果を整理・比較することで、企業国籍別の特徴や、日系企業の特徴を把握することができ、また、過去の事象や施策の影響を確認することもできる。今後も本調査を継続し、定期的にレポートを発信していく予定である。

本調査及び本レポートが、幅広い関係機関における施策・戦略の立案に活用いただけることを期待する。また、さらなる活用に向けて、整理・分析方法についてご意見を頂戴したい。

TSC Foresight 調査分析レポート

製品市場における日系企業の国際競争ポジション調査 (2025 年度全体概要) ～ 通称バルーンマップ調査 ～

2026 年 9 月 4 日発行

作成メンバー

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション戦略センター(TSC)

■センター長	岸本 喜久雄
■事務局長	田辺 雄史
■マクロ分析ユニット	
ユニット長	山田 英永
専門調査員	平野 謙

●本書に関する問い合わせ先

電話 044-520-5200(イノベーション戦略センター)

●本書は以下 URL よりダウンロードできます。

https://www.nedo.go.jp/library/ZZNA_100062.html

本資料はイノベーション戦略センターの解釈によるものです。

掲載されているコンテンツの無断複製、転送、改変、修正、追加などの行為を禁止します。

引用を行う際は、必ず出典を明記願います。